

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1791400144		
法人名	社会福祉法人清湖の杜		
事業所名	グループホーム みんなの杜		
所在地	石川県河北郡内灘町向陽台2丁目267番地		
自己評価作成日	令和2年2月8日	評価結果市町村受理日	令和2年3月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai gokensaku.jp/">http://www.kai gokensaku.jp/</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人バリアフリー総合研究所
所在地	石川県白山市成町712番地3
訪問調査日	令和2年2月27日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

住み慣れた地域で、生活する実感が得られるよう、入居前からの生活スタイルを大切にしたい個別援助を行っている。地域活動や馴染みの人や場所を繋ぐ支援にも心がけ、ホームでは穏やかで笑みがこぼれるような関わりに重点を置いている。また、重度化し表現が困難になった場合でも、自己決定の支援に組んでいる。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

- ・理念「利用者の地域活動への参加・思いの共有・特徴を活かすその人らしい生活支援(要約)」のもと、今年度は法人として地域住民と共にお茶会やファッションショーなど様々な行事を開催するなど、地域活性化を目的に取り組んでいる。
- ・また近隣にも同法人の障害者グループホームがあり、2つの町会にわたり溝清掃や祭りに参加したり、中学生の職場体験受け入れや地元医科大学の認知症研究に利用者と共に携わるなど、利用者が地域と関わられるよう取り組んでいる。
- ・毎年、大学や福祉関係者等による年間研修計画を策定し、認知症の理解、適切な接遇、プライバシー保護等を必須研修と位置付け、ケアサービスの質や専門性向上を目指し、改めて全職員に理解と共有が浸透するよう図っている。
- ・入浴は曜日を定めず365日利用が可能で、食事は地元スーパーの食材で手作り料理、外出も多数や少数で利用者の行きたい所や馴染みの場所に立ち寄り、またクリスマス会や大掃除など家族と共に過ごす行事も設けている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～59で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
60	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	67	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
61	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,42)	68	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
62	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:42)	69	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
63	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:40,41)	70	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
64	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:53)	71	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
65	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
66	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		